

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成28年12月22日(木) 午後5時35分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 教育長報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	加賀爪 毅
委員長職務代理者	金丸 公一
委 員	中筋 斉子
委 員	小山 栄子
委員(教育長)	石田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	澤畑 信広	副 部 長	伊賀 和彦
参事(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤原 千鶴	教育支援センター長	瀬野 克幸
教育総務課長	縄手 弘	学校教育課長	井上 宜久
学校教育副課長	三村 敦		

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	上田ひとみ	教育総務課主任	高木紗代子
教育総務課主事	奥田峻也		

開 会 (午後5時35分)

○開会宣言 委員長が12月教育委員会定例会の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、小山委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 教育長報告

- (1) 平成28年決算特別委員会について
- (2) 文教福祉常任委員会について（平成28年12月15日）
- (3) 平成29年（2017年）宇治市成人式について
- (4) 「要望書」等について
- (5) 宇治市教育委員会後援事業について

以上5件を報告する。

[説明]

(1) 平成28年決算特別委員会について

総括質疑は、7点の質問があった。1点目は渡辺委員から中学校給食について。2点目は、坂本委員から菟道ふれあいセンターと青少年指導センター、宇治公民館等について。3点目は、水谷委員からトイレ改修の国庫補助について。4点目は、今川委員からこども部の創設について。5点目と6点目は、関谷委員から学校施設のトイレ改修や非構造部材の改修についてと公立幼稚園について。教育ではないが、7点目に中村委員から人口流出について、一般会計における教育費の構成比率が少ないのではないのかという指摘があった。答弁内容として、今までの考え方と異なる答弁はしていない。ただ、坂本委員の菟道ふれあいセンターと宇治公民館等についての質問に対し、教育部長は、「耐震性能が不足している宇治公民館を、現状で長期的に継続利用する事は難しいと認識しており、日常的には可能な限り安全に配慮した維持管理を努めているが、宇治公民館の現在における機能・利用実態について十分整理し、できる限り早期に具体的な判断をしていく必要があると考えているところである」と答えている。また、今川委員から、こども部の創設についての質問に対し、福祉こども部や教育部で行っている取り組みと両部の連携について説明したが、続いて市長からも、こども福祉と教育の両者が行っている連携会議を開催し、福祉と教育の連携や協力が行われているという説明があった。そのことについて、今川委員より先に質問があった、子どもの事に関して一元的に所管する「こども部」といった市民に分かりやすい組織体制が必要と考えるが、どう考えているのかという質問があった。

それに対して、市長から「これまでから市民に分かりやすく、親しまれる市役所づくり

を目指しており、さらに簡素で合理的な行財政運営が可能で、大きな政策課題に対応できる組織体制の検討も重要である。そのため、各部局からのヒアリングや国・府の制度改正等の対応に加えて、本市の制度体制にも対応できる組織への検討を行っており、子育てを総合的に支援する組織づくりを見据えた見直しを行い、従前の健康福祉部を、現在の福祉こども部と健康長寿部の2部体制に再編したところである。現在、教育と福祉における関係部署で構成される「子ども子育て支援連携会議」において、様々な課題に対応するために連携強化を図り、本市の未来を担う子どもを育てていくための効果的な体制を構築するため、総合的に他団体のディベートを研究し、検討を行っていく。」とあった。今後も引き続き、より市民に分かりやすい教育を目指していく中で、子育てを総合的に支援するとともに、議員からの質問にあった子育てに関する施策を一元的に所管する、こども部の創設を含めて検討していきたい。

(2) 文教福祉常任委員会について(平成28年12月15日)

中学校昼食提供事業に係るアンケート集計結果について

本案件は、平成28年7月に全中学校の生徒及び、その保護者4,952人を対象にして、生徒分4,669人分及び、保護者分3,195人を取りまとめたものである。回収率として、生徒分94.3%及び、保護者分64.5%となっている。主な項目のみ抜粋して説明する。

まず、生徒に対するアンケート結果について説明する。「学校での1週間の昼食の内容について」のアンケート項目では、選択肢ごとに日数を記述し、合計日数が5日となるようにしている。アンケート集計結果は、家から持参したお弁当が89.11%で最も多く、次いで市販パン7.34%である。

「学校給食に対する意識について(学校給食があれば良いと思うか)」のアンケート項目では、「思わない」39.71%が最も多い。一方、「思う」・「どちらでもない」が30%前後となっており、大きな差異はない状況である。

保護者分に対するアンケート集計結果について説明する。「中学生にとって理想と思う昼食の形態について」の質問項目では、「学校給食」が60.05%で最も多く、「家庭弁当」が24.61%となっている。複数回答可を明記してなかったが、複数の回答があり、合計数が回収率を上回っている。

現時点では、中学校昼食は家庭からの持参弁当を原則としており、中学校給食の実現に向けて様々な検討すべき事項がある。現在、実施している昼食提供事業の総括を行いながら、今後の望ましい中学校昼食のあり方について、十分に検討していく必要がある。

(3) 平成29年(2017年)宇治市成人式について

成人式は、平成29年1月9日(月)、成人の日に宇治市文化センター大ホールで開催する。今年度の対象者は男1,021人、女944人、計1,965人である。主催は、宇治市・宇治市教育委員会・宇治市成人式実行委員会である。

実行委員会は、市内在住の新成人から公募した男性3名、女性4名、計7名で構成され

ており、式典での新成人代表挨拶は、実行委員長が行う。

特別企画では、中央公民館で活動している和太鼓サークル「渦」と佛教大学のよさこいサークル「紫踊屋」に出演を依頼している。また、例年人気の高い、中学校の恩師からのメッセージも上映する。これは、実行委員が各学校を回り、撮影したものである。

なお記念品は、実行委員のアイデアにより、実用性を重視したボールペンを準備した。

次に、郵送したパンフレットのデザインは実行委員のアイデアにより三つ折りのものになっている。また、選挙権が18歳以上という事で、新成人に今までは選挙の啓発の一文を入れていたが、選挙管理委員会からの申し出があり、パンフレットからその一文が無くなった。昨年度から飲酒対策を強化しており、敷地内への酒類の持ち込み及び飲酒は固くお断りする旨を明記している。今年度も飲酒対策を強化していく。

(4) 「要望書」等について

平成28年11月17日付で、宇治市立木幡小学校PTAより「通学路における安全確保に関する要望」の提出を受けた。

(5) 宇治市教育委員会後援事業について

第33回宇治市民混声合唱団定期演奏会ほか8件、計9件の事業について後援をおこなった。

[質 疑]

[委 員] 中学校昼食提供事業アンケートで、学校での一週間の昼食の内容について、家の弁当の割合が89.11%になっている。これは以前に比べてどのように変化しているのか。

[事務局] 平成22年度の調査時点では、その割合が約85%で、約5%増加している。

[委 員] 数字からは、家庭から弁当を持っていくことが定着しているのではないか。一方で、保護者アンケートで、昼食における今後の望ましい昼食の在り方について学校給食を希望している保護者が61.5%おり、この事に対して、事務局はどのように考えているか。

[事務局] 事実として、重く受け止めている。

[委 員] 学校給食に対する意識について、全生徒の回答で学校給食があれば良いと「思う」に32.72%、「思わない」に39.71%、「どちらでもない」に27.57%となっている。ここの、「どちらでもない」約27%に対して、事務局はどのように考えているのか。

[事務局] 非常に悩ましい問題であり、生徒の自由記述を見ていく必要がある。また、「どちらでもない」意見の代表的なものとしては、「家庭弁当、買い弁、昼食弁当といろいろなところから選べて良い」が挙げられる。この事

から、二者択一で答えられない層が「どちらでもない」という回答になったと考えられる。いずれにしても、今後も詳しく検証していく必要がある。

[委員] 京都府内における中学校給食実施の市町村はどれくらいか

[事務局] 京都市を含めた15市中8市が実施しており、残り7市の内、実施の方針が決まっているのは4市、実施未定は宇治市を含めて3市となっている。

[委員] 宇治市に隣接する市町村の実施状況はどうか。

[事務局] 宇治田原町は、すでに実施しており、久御山町は実施の方針が決まっている。

[委員] 京都府外で、宇治市と同規模の人口を有している市町村では、中学校給食の実施状況はどうか。

[事務局] それについての状況は把握していないが、今後検討していく材料にしていきたい。

[委員] 中学校給食を開始する為の概算費用はどれくらいか。

[事務局] 実施手法によって金額に変動があるもので、具体的な試算はしていない。仮に自校調理を行う場合、小倉小学校では調理室改修工事で約3億円の費用が掛かった。それに加えて給食が始まるとそれ以上の運営費用が掛かると思われる。

[委員] 木幡小学校PTAから毎年のように、要望書が出ているが、昨年度と比べてどのような違いがあるのか。

[事務局] 昨年度は、少人数学級編成と教育の内容面での要望があり、今年度はそれが盛り込まれていない。また、通学路関連では関係課と連携及び調整しているが、対応が困難な箇所が残っており、継続課題として今後も取り組んでいく。

[討論] なし

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言** 委員長が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時10分)